



Runway Safety Team始動へ、大きな前進！

IFALPA SVS (セーフティ・ボランティア・セミナー) 開催報告

2013年10月29日～31日の3日間、都内及び成田空港においてIFALPAで2回目、前身のセミナーを含めても日本で初となるIFALPA SVSが開催されました。このセミナーは飛行場環境を改善向上していくためにICAO SMS (Safety Management System) で制定が推奨されている RST (Runway Safety Team) の理念を理解し、実際にパイロットの目で空港を見た後、得られた知識や経験を皆で話し合っ
て安全向上に繋げるという趣旨のもので、ICAOから講師が来日して行われました。

チュニジア・香港・タイのPILOTも含め、各地から46名のPILOTが参加！

今回のセミナーには海外から4名の参加をはじめ、国内から沖縄・鹿児島・福岡・大阪など各地からも含めて合計46名が参加しました。講師はICAOからCaptain Andreas MEYER氏、スタッフとしてIFALPA Managing DirectorのChristoph SCHEWE氏を迎え、全て英語！で行われました。

1日目「Bird Strike -鳥衝突」と「EMAS」のプレゼンテーションを開催

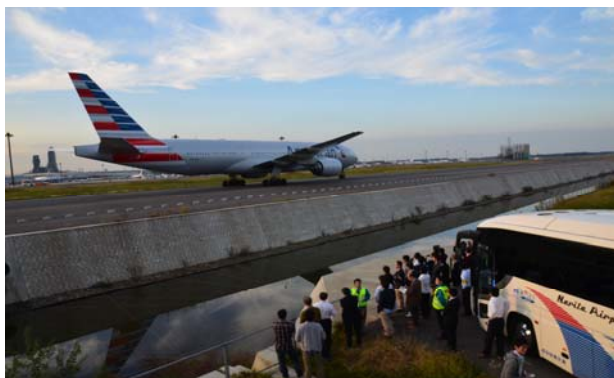
初日に行われた武田 靖チューリッヒ工科大学講師による鳥衝突に関するプレゼンでは、これまでの研究調査結果により判明した世界各地の空港での鳥衝突DATAに共通の傾向があることや、今後の世界的な取り組みについて興味深い話を聞くことができました。

また、国土の狭い日本では有効と思われるEMAS (Engineered Material Arresting Systems : ALPA Japan News 33-28 参照)について、EMASの日本代理店である双日の岸田慎司氏がプレゼンを行い、参加者はEMASのサンプルに初めて触れ、改めて理解を深めることができました。



武田教授によるプレゼン

2日目 最大のイベント、NRT 空港へ！ 空港内を視察し、Hazard を調査



L TWY 南側より

SVSのハイライトであるAirport Visit(空港視察)は、NAA(成田国際空港株式会社)のご協力により、空港内制限区域をバスに乗りながら行いました。視察場所はALPA Japan News 36-55でも触れた場所を中心に、バス車内で低速運転や時には停止してランプ内のHazardをICAO講師に説明してもらいながら、通常のフライトでは気づかない空港内のHazardの発見・特定について実地で学ぶことが出来ました。

(裏へ続く)

3日目（最終日） Hazard の分析・リスク評価を行い、改善への優先順位をつけた報告へ

最終日はグループに分かれ、空港視察で発見した Hazard について、Likelihood（可能性）を確率とした Frequent (5)～Extremely improbable (1)の5段階、被害度として Catastrophic (A)～Negligible (E)の5段階で特定し、それぞれの Hazard を 3C や 4B などと分類してリスクの大きさに応じたランク付けを行いました。このランク付けは SMS で謳われている内容と同一のものです。

(Hazard の一例)	(ランク)	(改善策)
・ Taxiway design	4C	Simplify design
・ Ducks in the pond	4B	Research the necessity of the pond
・ Language of rescue services	3B	Standard RT

このように現在の Risk=Hazard を SMS に基づいてランク付けし、ランク付けの高いものを中心に対応を図っていくというのが RST（Runway Safety Team）の考え方です。そのためには、空港の安全に関わる全関係者が同じテーブルについて Risk 分析と評価をすることが大切になってきます。

日本で初めての RST（Runway Safety Team）結成へ向け、大きな前進！

参加者からは、「非常に勉強になった。今後の活動に活かしていきたい」「SMS への理解が深まった」などの感想が寄せられました。

従来から ALPA Japan AGE 委員会が日本国内で提唱している、ICAO で勧告されているものの日本ではいまだ発足していない RST（Runway Safety Team：全ての空港関係者が参加し、飛行場の安全性を向上させる、各空港単位の組織） の結成へ向け、引き続き関係各所へ働きかけていきます。

こうした飛行場環境を向上させていくための活動には、現場で運航する皆様の声が重要です。ALPA Japan AGE 委員会は、皆さんの情報・ご意見をお待ちしております。

「airport@alpajapan.org」に、皆様の声を届けて下さい！（もちろん無記名でも結構です）



NRT 空港西分署にて

以上